

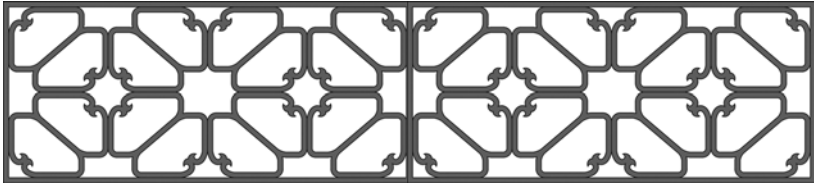
環境問題のデパート中国／目次

まえがき……………1

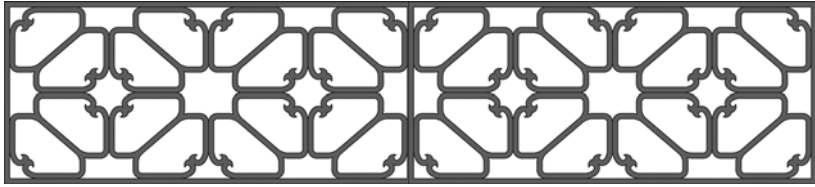
第一部 中国の環境汚染の現状と対策……………15

第1章 中国に対する基本的理解……………17

環境行政転機となった松花江水汚染事件……………	18
中国の環境問題は一口では語れない奥深さがある……………	19
「日本の常識」が通じない途上国の事情……………	19
中国を見るに当たっての七つの基本問題……………	21
小康水準を経て富裕に至る三段階発展……………	23
環境の悪化、資源問題が中国の発展の制約に……………	24
中国の省行政区は一国並みのスケールがある……………	26
「環境問題のデパート」中国の問題解決の困難さ……………	28



	第2章	中国の環境汚染の現状	31
1	大気汚染の状況	33
	(1) 二酸化硫黄による汚染	34
	(2) 窒素酸化物による汚染	38
	(3) 粒子状物質による汚染	40
	(4) 酸性雨	42
	(5) 黄砂	43
	(6) 光化学オキシダント	46
	(7) 越境大気汚染——日本への影響	46
2	水質汚染の状況	52
	(1) 絶対量が不足する水量	52
	(2) 危うい水質	55
	(3) 主要な汚染物質の排出状況	58
3	沿海部の海洋汚染	62
4	土壌汚染	64
5	廃棄物による汚染	67
6	生態環境	69
7	地球環境問題（地球温暖化問題）との関わり	71



コラム1・1 強烈だった2006年春季の黄砂 45

コラム1・2 越境汚染問題で中国とどのように向き合うか 51

コラム1・3 統計データでは見えないところに存在する問題 60

コラム1・4 かつて新中国建設のモデルだった「汚水灌漑」 66

コラム1・5 汚染物質排出量等に関する統計データと全国汚染源全面調査結果の比較 74

第3章 中国の環境汚染対策 77

1 法制度整備等の歴史 79

経済発展優先、環境対策は後回し 79

2 環境政策重視への転換準備期間（02～05年） 85

資源浪費型、粗放型の経済成長に対する反省 85

ブレーキがかからない資源消費、汚染物質排出増加の勢い 86

3 第11次5カ年計画（06～10年）で示した重大な決意 89

人口・資源・環境の分野で六つの拘束性目標 89

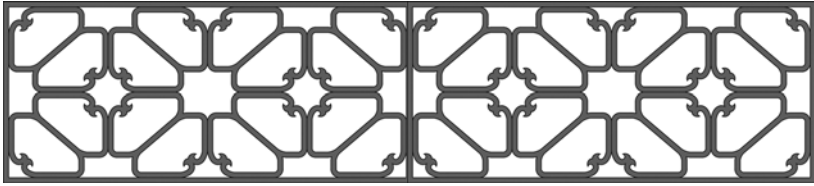
4 「省エネ・排出削減（節能減排）」政策の実行 91

「一票否決」や「地域認可制限」の行政措置で強力推進 91

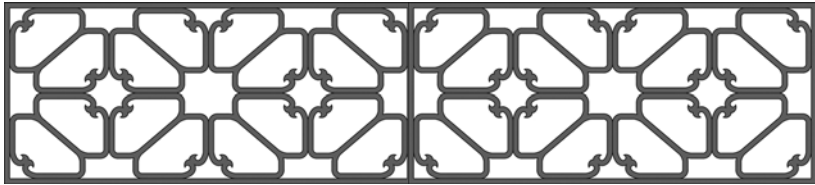
5 「省エネ・排出削減（節能減排）」政策の効果 96

背水の陣で強硬措置を連発 96

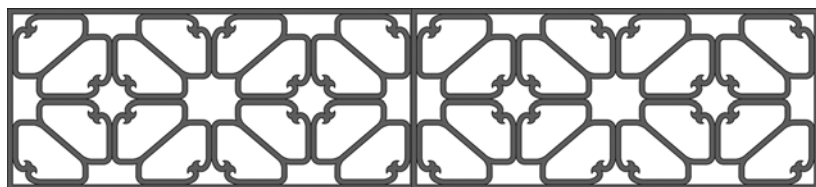
経済発展のスピードになお対策が追いつかず 98



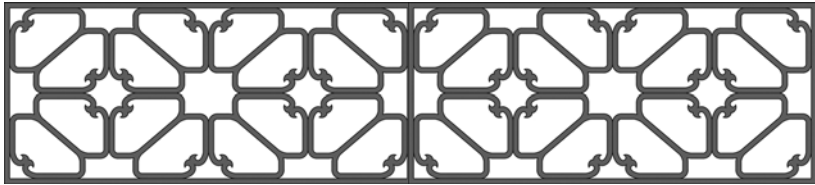
コラム1・6	5カ年計画による重点地域への対応	84
コラム1・7	循環経済による東北現象の解決	88
第4章 中国の気候変動問題への対応 ……………101		
1	第11次5カ年計画で示した重大な決意 守りの姿勢から積極的な姿勢に転換	103
2	中国気候変動対応国家計画……………105	
	中国気候変動対応省レベル計画プロジェクトをスタート……………105	
3	国務院が省エネ・汚染物質排出削減に関する通知を发出 高エネルギー消費・高汚染プロジェクトを厳しく規制……………108	
4	胡錦濤総書記がはじめて積極的対応を表明……………109	
	重点は省エネと高効率利用の政策……………109	
5	再生可能エネルギー発展第11次5カ年計画決定……………111	
	一次エネルギーに占める割合を10%程度まで高める……………111	
6	洞爺湖サミットで胡錦濤国家主席が中国の立場を発表……………113	
	何も新しい対応方針を示さず……………113	
	胡錦濤主席の洞爺湖サミットでの発言概要……………114	
7	はじめての気候変動白書を発表……………118	
	世界を睨んだ8カ国語による同時発表……………118	
	各章にちりばめられた中国の立場の主張……………119	



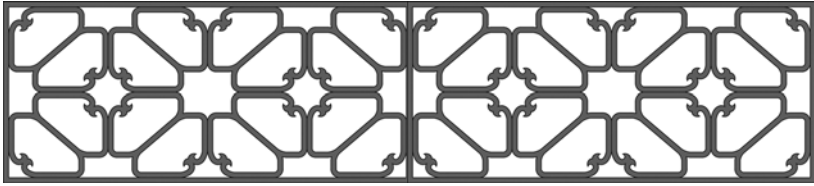
8.	COP14―自信をつけてきた気候変動問題への対応	124
9.	COP15に向けた中国のスタンスを表明	126
	先進国の中期目標に対して厳しい要求	126
10	国連気候変動サミットで胡錦濤主席が示した2020年目標	129
	胡錦濤演説のポイント(1)――四つの堅持すべき原則	129
	胡錦濤演説のポイント(2)――今後中国がとる四つの措置	131
	先進国に対する中期目標の要求に微妙な変化	132
	2020年目標を見せた中国	133
11	COP15の前哨戦だった米中首脳会談	135
	米中間のクリーンエネルギー―研究所協力が目玉	135
12	COP15で強気の姿勢を貫いた中国	137
	最初から強気に出てきた中国	137
	中国が示した削減目標の性格	138
	目標に国際的な拘束力はなくても中国は必ず実行	139
	今後の中国温暖化対策の行方	141
コラム1・8	二酸化炭素の排出削減目標を設定しないことに関する中国の見解	106
コラム1・9	数値目標を出せない国内事情	116
コラム1・10	金融危機により露呈した市場メカニズムの脆さ	122
コラム1・11	中国は世界最大のCDMプロジェクト実施国	123
コラム1・12	中国のとった緊急経済対策	125



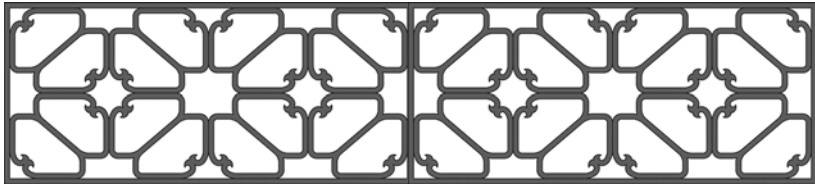
コラム 1	13	麻生首相が示した日本の中期目標に厳しい反応	134
コラム 1	14	日本の新しい中期目標に対する中国の評価	127
第二部		中国の素顔―現地滞在レポート	143
第1章		公害・健康問題と向き合いはじめた中国	145
1		「癌の村」抱える中国、水俣を視察	146
2		健康被害、本格救済はこれから	150
3		公害・健康問題を直視しはじめた中国	155
4		冷凍ギョーザに端を発した食・健康の安全	158
5		中国で体験した健康まで蝕む大砂塵嵐	160
第2章		循環型社会形成に取り組みはじめた中国	165
6		中国も循環型社会に？ 「循環経済促進法」が成立	166
7		大量廃棄時代迎える中国の自動車リサイクル事情	169



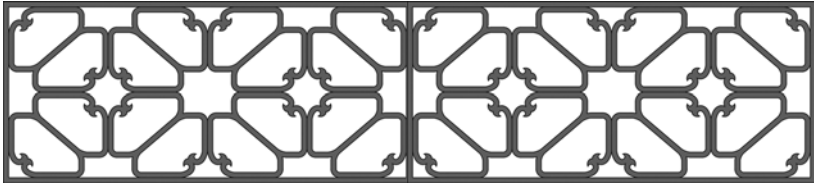
22	21	20	19		18	17	16	15	14	13	12	11		10	9	8
温暖化・公害を一体で防止するコベネフィット・アプローチ、日中間で始動	日本の環境ODA（円借款）は成功したか・貴陽市の場合	国際協力専門家の心構え	日中環境協力の象徴になった日中友好環境保全センター	第4章 転換期を迎えた日中環境協力	鳩山首相訪中―政権交代、政治主導の成果は如何に？（09年10月）	麻生首相訪中―環境分野の成果はあったか？（09年4月）	中国に触れなかった日米首脳会談（09年2月）	暖春の旅がもたらしたもの―胡錦濤国家主席の訪日（08年5月）	迎春の旅―福田首相の訪中（2）（07年12月）	迎春の旅―福田首相の訪中（1）（07年12月）	水を解かす旅の行方―温家宝首相の訪日（07年4月）	厚い氷を割る旅へ―安倍首相の電撃訪中（06年10月）	第3章 環境協力を促進させる首脳間交流	進む日中エコタウン協力	中国版家電リサイクル法公布―2年後の施行に課題山積	廃家電リサイクルモデル工場を訪ねる
229	223	219	214	213	211	207	204	201	198	195	192	188	187	183	178	174



23	コベネフィット効果でCO ₂ 削減の上積みを強調	234
24	日中環境ビジネス成功への課題は日中双方の歩み寄り	237
25	日中環境汚染対策協力ゴールデンウィーク	241
26	農村地域の協力が大きな課題——根が深い中国の水環境問題	250
27	農村問題——中国のもう一つの素顔	254
第5章 四川大地震への対応について思う……		
28	環境対策でも素早い動き	260
29	各国支援に思う「外交としての国際協力」	264
30	本格的対策と支援はこれから	267
コラム 2・1	四川省沱江（長江支流）の特大水汚染事件	261
コラム 2・2	国家突発環境事件応急预案	263
第三部 日本はどうかかわり合っていくべきか？		
	デパートのように何でもそろう中国の環境問題	273
	オリンピック後の北京、大気汚染の現状	274



先進国の経験が大きなプレッシャーに	275
生きるか死ぬか、生活で最優先される問題とは	277
先進国の「肩代わり」という自国の役割を見直す	278
政局に振り回される環境問題	279
中国に対する姿勢と日本国内のみに通用する論理	281
北京におけるIGESの活動とは	281
協力の中で発揮されるIGESの戦略性	283
CDMに続く協力、「水」と「互恵関係の構築」	284
中国の環境問題は日本人が持つ印象そのままか	285
攻めの中央、守りの地方	286
偏った情報からの判断が誤った方向へと導く	287
付録 日中環境保護協力関係資料	289
1 日本政府及び中華人民共和国政府による21世紀に向けた環境協力に関する共同発表	290
2 日中共同プレス発表	292
3 日中共同プレス発表	294
4 日本政府及び中華人民共和国政府による環境保護協力の一層の強化に関する共同声明	298
5 日中間のエネルギー分野における協力強化に関する日本国経済産業省及び中華人民共和	



	14	13	12	11	10	9	8	7	6		
引用・参考文献……………	環境問題のデパート中国の行方―あとがきに代えて……………	日本国環境省及び中華人民共和国環境保護部による環境協力の一層の深化に関する覚書	日中環境・省エネルギー総合協力プラン……………	野における協力の継続強化に関する覚書……………	日本国政府と中華人民共和国政府との気候変動に関する共同声明……………	「戦略的互惠関係」の包括的推進に関する日中共同声明……………	モデル事業協力実施に関する覚書……………	共同コミュニケーション……………	日本国環境省及び中華人民共和国環境保護部による農村地域等における分散型排水処理	日本国政府と中華人民共和国政府との環境・エネルギー分野における協力推進に関する	
326	323	322	316	315	313	311	308	306	305	304	300